

令和6年度 江戸川区立篠崎第五小学校 第4学年算数科 評価規準

● みんなで算数をはじめよう! / ペントミノ

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
2 5 1 0	みんなが算数をはじめよう! / 算数で使いたい見方・考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「みんなが算数をはじめよう!」及び「算数で使いたい見方・考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・問題解決の進め方を理解している。	・正方形を5個つなげた形のいろいろな場合について、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
	ペントミノ		・同じ大きさの正方形を5枚つなげた形(ペントミノ)を、筋道を立てていろいろ見つける。また、ペントミノのうち、ふたのない箱になる形を見つける。 ★ワークシート「いろいろなペントミノ」「箱の形になるペントミノ」を使って活動する。		
<p>【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。</p> <p>・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。</p>					

1 大きな数		
◆単元の目標と評価規準		
○億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、大きな数の大きさの比べ方や表し方、計算のしかたを統合的に捉える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)、A(1)イ(ア)、内(1)(3)】		
	・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。<知・技>	
	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>	
	・整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>	

2 わり算の筆算		
◆単元の目標と評価規準		
○除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)、内(2)】		
	・除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数＝除数×商＋あまりの関係について理解している。<知・技>	
	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	
	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

3 折れ線グラフ	
◆単元の目標と評価規準	
○折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(イ)、D(1)イ(ア)、内(10)】	
・折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>	
・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。<思・判・表>	
・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

■ 油分け

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
5 8		①筋道を立てて考える力を伸ばす。	・7dLや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を考える。		・7dLや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を、筋道を立てて考えている。

4 角		
◆単元の目標と評価規準		
○角の大きさについて理解し、角の大きさを測定したり作図したりすることができるとともに、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、角の大きさの単位と測定のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(5)ア(ア)(イ)、B(5)イ(ア)】		
	・角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「度(°)」について理解し、角の大きさを測定することができる。<知・技>	
	・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。<思・判・表>	
	・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

5 2けたの数のわり算	
◆単元の目標と評価規準	
○除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算ができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ(ア)、内(4)】	
	・除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。<知・技>
	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

6 がい数	
◆単元の目標と評価規準	
○概数や四捨五入について理解し、目的に応じて概数で表したり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるとともに、目的に合った数の処理のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、概数を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	
	・概数を用いられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。<知・技>
	・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>
	・概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

■ こわれた電たく

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
108		①乗法に関して成り立つ性質について理解を深める。	・5のキーを使わないで、 18×25 の答えを表示させる方法を、乗法に関して成り立つ性質などを用いて考える。		・ 18×25 と答えが同じになる式を、乗法に関して成り立つ性質を用いて考えている。

7 垂直、平行と四角形		
◆単元の目標と評価規準		
○直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)、内(7)】		
	・直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。<知・技>	
	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。<思・判・表>	
	・台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

8 式と計算		
◆単元の目標と評価規準		
○数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算することができるとともに、数量の関係を式に表したり式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、式のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)、A(7)ア(ア)、A(7)イ(ア)、内(6)】		
	・四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を○、△などを用いて式に表したり、数をあてはめて調べたりすることができる。<知・技>	
	・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。また、計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。<思・判・表>	
	・数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>	

9 面積	
◆単元の目標と評価規準	
○平面図形の面積、及び公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、面積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)、B(4)ア(ア)(イ)、B(4)イ(ア)、内(8)】	
	・面積の単位「cm ² 、m ² 、km ² 、a、ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。<知・技>
	・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。<思・判・表>
	・長方形や正方形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

■ つないだ輪を切って

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2 5		①つないだ輪を切ってできる形について、図形の性質に着目して筋道を立てて考え説明し、図形についての感覚を豊かにする。	・同じ大きさの輪を垂直に貼り合わせ、輪の中心に沿って切ってできる形について考える。 ・輪を大小にした場合や貼り合わせ方を斜めにした場合など、条件を変えてできる形について考える。		・つないだ輪を切ってできる形について、正方形ができた場合をもとに、条件を変えたときにどのような形ができるかを図形の性質に着目して考えている。

10 整理のしかた		
◆単元の目標と評価規準		
○データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができるとともに、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、二次元表の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(ア)、内(9)】		
	・データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。<知・技>	
	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。<思・判・表>	
	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>	

11 くらべ方		
◆単元の目標と評価規準		
○倍の数量関係について理解を深めるとともに、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、それらの関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程において、比べ方について多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(イ)、C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】		
	・整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。また、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。<知・技>	
	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方を考察している。<思・判・表>	
	・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

12 小数のしくみとたし算、ひき算		
◆単元の目標と評価規準		
○小数のしくみや数の相対的な大きさについて理解を深め、小数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(イ)(ウ)、A(4)イ(ア)】		
	・小数が整数と同じしくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>	
	・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	
	・小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

13 変わり方		
◆単元の目標と評価規準		
○伴って変わる2つの数量について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表すことができるとともに、それらを用いて変化や対応の特徴を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、関数の考えのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)、C(1)ア(ア)、C(1)イ(ア)】		
	・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。<知・技>	
	・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。<思・判・表>	
	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

14 そろばん	
◆単元の目標と評価規準	
○そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、そろばんのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)、A(8)イ(ア)】	
・そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。<知・技>	
・そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考えている。<思・判・表>	
・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

■ 方眼で九九を考えよう

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
7 5		①方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて捉え、分配法則についての理解を深める。	★シミュレーション「九九の表」、ワークシート「方眼九九の図」を使って活動する。 ・九九の答えを方眼のます目で表したものを使って、 $5 \times 3 + 5 \times 4 = 5 \times 7$ になることを説明したり、九九の総和を求めたりする。		・分配法則が成り立つことや九九の総和の求め方を、方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて考えている。

15 小数と整数のかけ算、わり算	
◆単元の目標と評価規準	
○小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味、及び小数を用いた倍について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(エ)、A(4)イ(ア)、内(5)】	
	・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。 <知・技>
	・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。 <思・判・表>
	・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 <態度>

16 立体		
◆単元の目標と評価規準		
○直方体や立方体について理解し、見取図や展開図による表現や構成のしかたを考察して図形の性質を見いだしたり、日常の事象を図形の性質から捉え直したりする力を身につけるとともに、ものの位置の表し方について理解し、数を用いて位置を表現する方法を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、図形の性質や表現を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)、B(2)イ(ア)、B(3)ア(ア)、B(3)イ(ア)】		
	・直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を作図することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。<知・技>	
	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。<思・判・表>	
	・直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

17 分数の大きさとし算、ひき算	
◆単元の目標と評価規準	
○簡単な場合について大きさの等しい分数があることを知り、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを図や式などを用いて考えたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(5)ア(ア)(イ)、A(5)イ(ア)】	
・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>	
・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	
・分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>	

■ 部屋分けパズル

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1 3 1		①1つの数をほかの数の積とみることや面積についての理解を深め、筋道を立てて考える力を伸ばす。	・指定された面積に部屋を区切るパズルに取り組む。		・1つの数をほかの数の積とみて分解して面積公式を適用するなど、部屋分けパズルの解決のしかたを筋道を立てて考えている。

● 算数を使って考えよう

頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1 3 2 5 1 3 5	(3R スリーアール) (教室の面積)	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・リサイクルに関するアンケート結果をまとめた表をもとに、データをよみ取ったり、棒グラフに表したりする。また、市のごみの量と人口に関するグラフを説明する記事を見て、この説明が正しいかどうかを判断し、理由を説明する。 ・教室についてわかっている情報を活用して、教室の面積の求め方を考え、説明する。		・表やグラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・日常の場面から算数の問題を見だし、面積などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

◎ 4年のまとめ

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	1 3 4 6 0 5		①②第4学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算、図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。	・第4学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・第4学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。

■ プログラミングにちょうせん「ゴールをめざそう！」

	頁	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)
	1 6 5	・カードを使って、車が進む数や向きなどを指示し、点Aを通過して点イの位置まで車を走らせる。また、点の位置を変えた場合のプログラムも考える。 ★プログラミング教材「ゴールをめざそう！」を使って活動する。